

# 翼

つばさ

## 安全安心なまちづくり (防災編)

町長 佐藤 晴彦

「9月6日早朝6時10分、この数日間の長雨が続き、更には大雨洪水警報発令中に銚子沖を震源地とする大地震が発生した」と言う想定で横芝光町全域を対象に69ヶ所を避難場所としての防災訓練を実施しました。訓練には習志野陸上自衛隊第一空挺団後方支援隊、匝瑳市横芝光町消防組合、横芝光町消防団、そして町職員をはじめ、多数の町民の皆様にもご参加をいただき、総勢3,756人の下で、避難誘導訓練や情報連絡訓練、初期消火訓練などを行いました。

また、一昨年から、災害弱者といわれる高齢者世帯を対



象に災害時援護者安否確認訓練を行っています。今年度も各地区役員さんのご協力を得て、短時間の中で対象者の



安否確認訓練が成されました。更に、聴覚障害者にはFAXによる情報提供も行ったところであります。

当日の訓練の流れですが、災害対策本部長の私が本部の設置要請を指示し、本部員召集指令、町職員の配備を行い、住民の避難勧告を発令しそれにあわせて自衛隊派遣要請、消防団の避難

広報活動実施の指示を行い、6時15分には災害対策本部の設置が完了しました。

6時20分、九十九里沿岸に津波警報が発令され、消防団による住民の海岸避難誘導と栗山川水面監視が5班にわたり行われました。

6時23分、町内の各施設の被害状況を把握すべく、災害対策

本部における各部長（役場課長職）に対し、主要道路及び町営住宅の調査をはじめ、公共施設の情報収集を指示しました。

6時30分、現地派遣した役場職員である初期情報連絡員から長倉地区で建物1棟倒壊、負傷者1名を長倉共同利用施設に搬送する為、看護師の派遣要請があり、更に文化会館では水道が断水しているため飲料水の要請があり、各々看護師の派遣、陸上自衛隊による給水車の要請を発令しました。

6時34分、大布川堤防の一部崩壊及び床下浸水1件が発生したため、対応要請があり、産業振興部の配備及び大利根土地改良区へ堤防崩壊箇所の復旧対応の要請、地元消防団に排水作業を発令しました。

その後も、栗山川の堤防決壊、火災発生などの被害報告が入りその対応を関係部署に指示しました。

6時47分、避難勧告に伴い食料が必要となるが、断水により給食センターが使用不能のため、自衛隊の炊出車による炊出しを要請しました。

7時18分、津波警報及び大雨洪水警報が解除され、更には災害箇所への応急処置も完了したため災害対策本部を解散しました。

このように、緊張感張り詰める中約1時間にわたって災害対策本部における情報収集や伝達訓練も行われたところですが、多くの町民の皆様のご協力のお陰をもちまして、極めてスムーズな訓練がなされたことで初期の目的を達成できたものと思っております。

防災訓練としては、まだまだ至らない部分もあるかと存じますが、いつ起こるかかわからないのが災害であり、このような訓練の積み重ねがいざと言う時には必ずや役立つであろうと確信しております。今後もより安全・安心で災害に強い町づくりを構築してまいりますので、町民の皆様のご積極的な参加をお願いします。

